

自分の作品を撮影し、作品のよさ等を紹介する学習活動

◇図画工作科「くぎうちトントン」：小学校3年

◇ねらい：自分のイメージをもちながら、釘の打ち方や並べ方を工夫して表現することができる。

◇ICTの活用により期待される効果

- ・児童が、作品の写真や表したい思いを学習者用端末に蓄積することで、自分の学びを自覚し、制作への意欲を高めることができる。
- ・クラス全員の作品の写真を共有ファイルに保存することにより、友達作品を随時、鑑賞することができ、作品への発想や構想を広げることができる。
- ・共有フォルダに「げんのうの使い方」を動画で保存しておくことで繰り返し視聴でき、安全に気を付けて作品づくりに取り組むことができる。

◇使用する機能：動画視聴、静止画撮影、書き込み

◇使用するアプリ等：カメラアプリ



学習活動例

	活動内容	活用ポイント／留意点	
導入	<p>一斉</p> <p>前時の振り返り</p> <p>課題の確認</p>	<p>1 前時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの作品や工夫した表現を振り返る。 <p>2 課題の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の目当てを立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・蓄積した制作過程(写真)を振り返り、自分の表したい思いを確認する。 ・ペン機能で写真に直接メモ書きした内容や表現の工夫を振り返り、作成への意欲を高める。
	<p>課題：釘の打ち方や並べ方を工夫して、「もっと〇〇にしたいな」という自分の思いを形にしよう。</p>		
展開	<p>全体</p> <p>制作交流</p>	<p>3 製作、交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「げんのうの使い方」を動画で確認してから作成する。 ・互いの作品についてよいところを伝えたり、質問したりする。 ・交流を通して得た表現のよさを生かして作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が児童の制作している作品を大型提示装置で映し、表現のよさを全体へ広める。
閉	<p>個別</p> <p>振り返り</p>	<p>4 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の作品を写真に撮り、工夫した箇所を確認する。 ・自分の作品のよさを写真やワークシート、学習者用端末に書き込む。 ・友達と作品を鑑賞し、よさを伝え合い、見方・感じ方を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者用端末で自分の作品を撮影した後、ペン機能で工夫した箇所を囲み、友達と伝え合う。 ・児童が、ワークシートまたは学習者用端末を選択し、工夫したことを書き込んで本時の振り返りをする。
まとめ			